



文化祭で課題研究を発表



6月15日(土)の文化祭2日目のステージ部門において、2組の研究班が課題研究の発表を行いました。今年は、理数科代表として化学班、普通科自主ゼミの代表として霧島観光班がステージに立ちました。両班とも大舞台上で何度も発表を経験しているだけあって、多くの観客の中でも堂々と落ち着いた態度でプレゼンをしました。**エネルギーなパフォーマンスで盛り上がっていた会場も、発表が開始されると一挙に静粛で厳かな雰囲気へと変わり、発表する生徒の声が響き渡りました。**国分高校らしい学術的なプログラムとしてすっかり定着した観があります。



文化祭にて



職員研修(課題研究研修会)を実施



6月18日(火)課題研究で全国的な実績をあげている本校の小溝克己教諭(理科)が、本校職員を対象に研修会を行いました。この研修会は、「誰でもできる課題研究の指導を目指して」と題し、小溝教諭が持っている課題研究のノウハウを本校職員に広げることを目的として行ったものです。「うまくいきそうにない」テーマの例や、そのようなテーマを生徒が持ってきた場合の声のかけ方、研究への関わり方、指導時のチェックポイントなど、分かりやすく教えてくれました。**課題研究の全校的取り組みは、SSHの目的の一つであり、これからも継続して研修を深め校職員の指導力向上に繋がりたいと思います。**



職員研修の様子



大隅国の歴史 ～世界に誇る霧島学②～

6月21日(金)本年度の霧島学第2弾として、霧島市教育委員会社会教育課の坂元祐己氏から講演をいただきました。古代・中世を中心とした大隅国の歴史や文化について、『古事記』や『日本書紀』の記述をもとにわかりやすく説明されました。国分高校は、戦国大名島津義久が築城した舞鶴城跡に立てられ、学校内に弥生時代以来の本御内(もとおさと)遺跡があります。生徒たちは、郷土の歴史について興味深く学びながら、改めて歴史の面白さを肌で感じ、さらに**歴史をサイエンスの視点で捉えるヒントを得たもの**と思います。



坂元氏の講演